

米国財団法人野口医学研究所 理事長
《挨拶》

ハワイ大学医学部外科教授
米国財団法人野口医学研究所 理事長
町 淳二



【第1回 Noguchi Summer Medical School、2009年7月】

Enjoy learning, Enjoy teaching, and Enjoy caring your patients!!!

第1回 Noguchi Summer Medical School にあたっての皆さんへのキーワードです。

昨年12月、野口医学研究所25周年を新理事長として迎えて記したことば（抜粋）は、今回のセミナーに通じるので、それを将来の医療を担う皆さんに贈ります。

Change ! Yes, We Can !

2008年11月4日、様々な問題を抱え苦悩するアメリカ、それに対し改革 Change を掲げ、新大統領 Obama 氏が選出されました。

同日、真夜中近く、緊急手術が終わって疲労感。すぐに帰ろうか。。。いや待てよ、昼過ぎに ICU の患者さんの状態が悪くなっていたな。レジデントに任せればいいか。。。明日朝でいいか。。。そのとき頭をよぎったのが、

Treat your patients as you would want your own family members to be treated.

Every clinical opportunity is a teachable and learning moment.

Every patient is your best teacher.

そう、手術を一緒にしたレジデントと学生と15分でも、あの患者さんを診に行こう。患者さんの診療に最善をつくすために、レジデント・学生とディスカッションし教育するために。

医師・医療者として「患者さんのため、国民のため」!!!

指導医・教育者として「将来を担う医師・医療者のために」!!!

これが私の医師としての初心であり、指導医を志したときの信念であり、同時に野口理事長としての基本です。これは、あたりまえのことなのですが、忙しさに追われる日々、時として難しいこともあります。

次の四半世紀、野口医学研究所は更なる飛躍に向けて前進します。現在までの野口の歴史を踏まえ、その長所と強み（これはまさに野口の人材です）を伸ばしつつ、新たな組織改革をします。海外医学交流のほか、日本国内での医学教育、学術・研究、メディカルスクールや卒後臨床研修プログラム構想などなど。（そして今回新規のサマーセミ

ナー・Noguchi Summer Medical School の開催となりました。) 常に野口の原点でもある「将来を担う医師・医療者のために」に戻り、野口の発展、更には日本の医療・教育の改善に、皆さんと歩んでいきたいと思えます。

My Noguchi members/friends and residents/students:

Ask not Noguchi can do for you, but ask what you can do for Noguchi, for future physicians/healthcare providers and eventually for patients/people.

今、崩壊・危機などとささやかれている日本の医療、様々な問題を抱える医学教育・卒後研修、それに対して野口医学研究所は何かできるか？ 我々は、皆さんは改革できるか？

Change ! Yes, We Can !

指導医にとって多忙な毎日のなか、臨床と教育の両立は大変なことでしょう。学生さんたちももうすぐ研修医となり、臨床（患者ケア）と学習、これもなかなか大変でしょう。それをいかに効果的に楽々こなすかのカギは“Enjoy”することです。臨床問題を解決することに楽しさ、患者さんの話から臨床推論することの楽しさ、病態生理から診断・治療を決断することの楽しさ、救急時にプライオリティーを選択し対処することの楽しさ、指導医とディスカッションすることの楽しさ、そして学ぶこと、特に自己学習すること（Active learner）の楽しさ、これらを経験すると臨床・教育・学習をEnjoyすることは楽にできます。楽しみながら教えてくれる野口アラムナイ講師たちと、そんなEnjoyをこのSummer Medical Schoolで体験して下さい。

Let's enjoy teaching & learning!!!

2009年5月吉日